

投票番号  
14

# 川まち散歩～川まち時間 旧銭湯から、次を問う

- 吉田温泉実行委員会  
吉田温泉の建物を利用して、アートや古本市など文化催事を開催



事業の  
ねらい

- ・ ウォークブルな街をめざして
- ・ ユニークベニュー＝吉田温泉の建物で、現在活動中のアーティストが躍動する
- ・ 関係人口の還流のための関係人口の拠点づくり

## 事業計画書

事業名	吉田温泉実行委員会
実施場所	吉田温泉と、御幸町、市場町、吉田町、宮町、下本町、千本緑町など
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和8年4月15日 ~ 令和9年3月22日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

5/1～3にイベント開催、

11月、3月に縮小版であるイベントと散歩イベントを同時開催

## 1. アート展示・鑑賞機会

- 地元アーティスト（作家）の作品展示を開催
- 地域内外から来訪者を呼び込むアート展示
- 出展作家は造形教室の小学生～80代まで幅広い世代

## 2. 歴史的建物を活用した文化体験

- 歴史ある建物内で、現役アーティストや伝統芸能伝承者が技を披露
- 建物そのものを味わいながら、周辺の身近な歴史に触れられる写真展を開催

## 3. 世代交流・家族参加の促進

- 親子二世帯での来場を奨励
- 特に「5080世代」（高齢の親とその子世代）へのアプローチを企画

## 4. 高齢者向けプログラム

地元エンターテイナーによる伝統話芸ステージ（落語、チンドン、足芸など）を実施

## 5. 多世代が楽しめるステージ企画

- 音楽ライブ（フォークソング、ギター弾き語り、文学朗読など）を準備

## 6. 親子向けワークショップ

- 小中学生以下の子どもと親が参加できるタイルワークショップ
- 昭和25年創業時のタイルを活用し、コースターや写真フレーム作り
- 参加費は低料金（500円）

## 7. 地域連携・協同開催

- 徒歩15分圏内の本屋、コーヒー店、アンティーク雑貨店、シェアハウスなどと協同
- 一部店舗はイベント会場に出店し、地域とイベントの協同開催を実現

## 8. 飲食・憩いの場づくり

- 地元ゆかりの手作り食べ物販売（例：のっぽパンや手づくり菓子など・未定）
- 地元コーヒー店の出店
- 会場内にくつろげるエリアを設置

## 9. 街と自然を楽しむ仕掛け

街中の居心地のよいスポットや近隣の自然エリアを紹介するマップ・情報掲示板掲示、来場者書き込み自由

## ◎目的

※本事業の目的は、

歴史的建造物を舞台にアート・伝統芸能・地域資源を融合させ、世代を超えた交流を促す創造的な文化事業である。特に 5080 世代へのアプローチを通じて関係人口を地域へ呼び戻す先駆的な試みであり、地域店舗との協働や街全体を巻き込む仕組みにより、文化芸術活動を地域振興へと結びつける新しいモデルを提示する。

※本地域と沼津市全体の問題点は、

世代間交流の機会不足、歴史的建造物や文化資源の活用停滞、関係人口の減少、地域店舗との連携不足などが課題となっている。これらを解決するために、文化芸術活動を通じて世代をつなぎ、地域資源を再発見し、関係人口の還流と地域経済の活性化を図る。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>・5月1～3日 文化催事（アート展示、古本市、伝統芸能、ライブコンサート、朗読、ワークショップ）＋散歩イベント開催</p> <p>・11月中旬 文化催事（5月催事の縮小規模）＋散歩イベント開催</p> <p>・3月中旬 文化催事（伝統芸能、映画、ライブコンサートなど）＋散歩イベント開催</p> <p>5月ゴールデンウィーク期間に歴史的建造物（沼津の戦後の復興のランドマークである旧銭湯と屋敷）を舞台として、地域ゆかりのアーティストや伝統芸能の担い手による展示・公演・ワークショップを開催し、世代を超えた文化交流の場を創出することを目的とする。</p> <p>※単なるアートイベントにとどまらず 「地域の人々をつなぐ場」文化の拠点としての役割を果たすことになる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. アート展示・鑑賞機会<ul style="list-style-type: none"><li>● 地元アーティスト（作家）の作品展示を開催</li><li>● 地域内外から来訪者を呼び込むアート展示</li><li>● アート関心の有無にかかわらず一般の方が気軽に鑑賞できる機会を提供</li><li>● 出展作家は造形教室の小学生～80代まで幅広い世代</li></ul></li><li>2. 歴史的建物を活用した文化体験<ul style="list-style-type: none"><li>● 歴史ある建物内で、現役アーティストや伝統芸能伝承者が技を披露</li><li>● 建物そのものを味わいながら、周辺の身近な歴史に触れられる写真展を開催</li></ul></li><li>3. 世代交流・家族参加の促進<ul style="list-style-type: none"><li>● 親子二世帯での来場を奨励</li><li>● 特に「5080世代」（高齢の親とその子世代）へのアプローチを企画</li></ul></li></ol>

	<p>4. 高齢者向けプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元エンターテイナーによる伝統話芸ステージ（落語、チンドン、足芸など）を実施</li> </ul> <p>5. 多世代が楽しめるステージ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽ライブ（フォークソング、ギター弾き語り、文学朗読など）を準備</li> </ul> <p>6. 親子向けワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学生以下の子どもと親が参加できるタイルワークショップ</li> <li>● 昭和 25 年創業時のタイルを活用し、コースターや写真フレーム作り</li> <li>● 参加費は低料金（500 円）</li> </ul> <p>7. 地域連携・協同開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩 15 分圏内の本屋、コーヒー店、アンティーク雑貨店、シェアハウスなどと協同</li> <li>● 一部店舗はイベント会場に出店し、地域とイベントの協同開催を実現</li> </ul> <p>8. 飲食・憩いの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元ゆかりの手作り食べ物販売（例：のっぽパンや手づくり菓子など・未定）</li> <li>● 地元コーヒー店の出店</li> <li>● 会場内にくつろげるエリアを設置</li> </ul> <p>9. 街と自然を楽しむ仕掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 街中の居心地のよいスポットや近隣の自然エリアを紹介するマップ・情報掲示板を設置</li> </ul>
--	---

### ◎事業効果

<p>特に、親と子の二世帯来場を奨励し、5080 世代（高齢の親とその子世代）へのアプローチを通じて、関係人口が地域に再び足を運び、ふるさととのつながりを深める契機を提供する。</p> <p>また、地域の店舗や飲食事業者との協働により、街全体を巻き込んだ文化的回遊を促し、アート・歴史・生活文化を融合させた新しい地域体験を創出することで、来訪者が文化を楽しみながら地域の魅力を再発見できる仕組みになっている、つまり、地域文化の継承と活性化を図る。</p> <p>※単なるアートイベントにとどまらず 「地域の人々をつなぐ場」文化の拠点としての役割を果たすことになる。</p>		
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p>	指標の検証方法
		<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>社会的 必要性</p>	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p><b>世代間の断絶と交流不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題：高齢者と若い世代の交流機会が少なく、地域社会のつながりが希薄化している。</li> <li>・取り組み：アート展示や伝統芸能ステージ、親子ワークショップを通じて、世代を超えた交流を促進。特に「5080 世代」へのアプローチで親子二世帯の参加を奨励。</li> </ul> <p><b>関係人口の還流・定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題：地域にゆかりのある人々が都市部へ移住し、地域との関わりが薄れている。</li> <li>・取り組み：5080 世代を対象に「ふるさとに帰るきっかけ」を作り、関係人口が地域に再び足を運ぶ流れを生み出す。</li> </ul> <p><b>地域経済の活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題：地域店舗や小規模事業者の認知度が低く、来訪者との接点が限られている。</li> <li>・取り組み：本屋、コーヒー店、アンティーク雑貨店などと協働し、イベントと街をつなぐ「回遊型文化体験」を創出。</li> <li>・</li> </ul>
<p>地域性</p>	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p><b>地域資源の活用不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題：歴史的建造物や地域の文化資源が十分に活用されず、地域の魅力が発信されにくい。</li> <li>・取り組み：建物そのものを展示空間として活用し、写真展や伝統芸能披露を通じて「場の歴史」を体験できる仕組みを提供。</li> </ul>
<p>独創性</p>	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p><b>文化体験の多様性不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題：アートや芸能に触れる機会が限られ、一般市民が文化に親しむ場が少ない。</li> <li>・取り組み：アート展示、音楽ライブ、伝統話芸、ワークショップなど多様なプログラムを用意し、誰もが気軽に文化に触れられる環境を整備。</li> </ul>
<p>実現性</p>	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p><b>イベント保険の加入必要</b></p> <p><b>法令順守</b></p> <p>地域の高齢者や子供などの気軽な来場を目指すとして      入場料なしで敢行したいが、      65 歳以上小学生以下を入場料無料にしたい      現行、銭湯公衆浴場入浴料金 500 円を入場料に設定すると      払う世代来場予測人数 300 人×500 円=15 万円と試算されますが      全体的に明らかに資金不足である</p>
<p>発展性</p>	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p>

※本地域・沼津市全体では、世代間交流の機会不足、歴史的建造物や文化資源の活用停滞、関係人口の減少、地域店舗との連携不足などが課題となっている。これらを解決するために、文化芸術活動を通じて世代をつなぎ、地域資源を再発見し、関係人口の還流と地域経済の活性化を図る。

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

吉田温泉イベントは、すでに5年目に突入しているが昨年2025年には、文化催事に加えて川まち散歩イベントを始めて、人々の永代橋周辺エリアへの関心が向いている。地図を確認すると、まちエリアと、港エリアの、中央東西に位置している沼津駅南口から南北への人流が1キロ範囲であるさらに、永代橋通りで東西にふり、回遊性を高める効果がある見通しです。また、港から駅まで人流を、取り込むこと。将来的、南口と北口がフラットに繋がり、人間がアップダウンなく、平たんな道のりを、歩いて楽しめるまちであることがとても重要です。これは、まちづくりに大きく貢献できます。さらに、将来、沼津散歩デーなどを作り、多少大型自動車を規制することで、人間中心のまちづくりに進む方向性もあってと思っています。長期的に鑑みた先駆的な取り組みとなります。

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

※「本事業は、世代を超えた文化交流を通じて関係人口を地域へ呼び戻し、歴史的資源の再発見と地域経済の活性化を促すことで、地域文化の持続的な発展を目指す。